

IoT実装関連の動向等

【回答自治体：福岡市】

事業名	
実施期間	
概要	<p>○福岡市 IoT コンソーシアム内の各ワーキンググループ          令和2年度は、コンソーシアム会員が企画・運営する下記5WG が活動中（事務局は WG 運営を支援）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①「事業共創ものづくり WG」</li> <li>②「IoT Business TransformationWG」(旧：IoT 検定・IoT リテラシーWG)</li> <li>③「医療働き方改革 WG」</li> <li>④「ドローン利活用 WG」</li> <li>⑤「FITCO×アビスパ福岡スポーツテック WG」</li> </ol> <p>OLPWA (LoRa) 通信網          平成29年度から「Fukuoka City LoRaWAN(R)」として市内に実証実験フィールドの提供を開始。自治体が整備するエリアとしては日本最大規模で、実証実験であれば無償でネットワークの利用可能とする取組みであったが、令和元年度末をもって本事業は終了。          令和2年度以降は、民間事業者（NTT 西日本グループ）による商用サービスとして、Fukuoka City LoRaWAN ネットワークが継続して提供されている。          福岡市・NTT ネオメイト・NTT 西日本の三者で連携協定を締結し、今後もIoT 関連産業の振興及び社会課題解決を目指していく。</p> <p>○平成29年度から令和元年度の間プレスリリースした主な実証実験事例は下記のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動公園における暑さ指数の可視化の実証（熱中症対策）</li> <li>・ため池の水位モニタリング</li> </ul>

- 子どもの通塾見守り
- 保育所でのIoT活用
- 河川の水位モニタリング
- イベント時の位置情報
- スマート水道メーター
- 天神市街での人流の可視化の実証
- 福岡マラソンでの実証

#### ○公民連携ワンストップ窓口「mirai@」/実証実験フルサポート事業

AIやIoTといった先端技術等を活用した実証実験や共働事業などの民間提案の支援により、社会実装を促進し、社会課題の解決や行政サービスの高質化・効率化に取り組む。

#### <第5回WG以降に実施した主なプロジェクト>

- IoTを活用した水道設備点検
- ドローン等を活用した橋梁点検
- ICT（カメラ画像）を活用したまちの賑わいの創出
- 電力、センサー情報を用いた居宅内モニタリングシステム
- アプリを活用したデジタル観覧券販売プロジェクト
- 多目的AIカメラサービス事業 など

※Fukuoka AI Communityは、令和2年10月1日に公益財団法人九州先端科学技術研究所（ISIT）内のコミュニティ組織である「福岡IoTコンソーシアム（FITCO）」と統合。

## 業務効率化・市民サービス向上実証プロジェクト

# IoT を活用した水道設備点検の実証実験を開始！

福岡市では、民間事業者の先進的なアイデアや AI・IoT 等の革新的技術を活用して社会課題の解決等を促進するワンストップ窓口『mirai@』（ミライット）を設置しており、本市が抱える行政課題のうち、特に民間事業者との共働による解決が望まれるテーマを抽出し、『業務効率化・市民サービス向上実証プロジェクト』として、本市と共に行政課題解決に取り組んでいただける提案を募集(令和元年10月)しました。

この度、IoT の活用によって水道設備の保全業務の効率化を図る2件の共同研究をスタートすることとなりましたので、お知らせいたします。

### 1 共同研究の目的

送水ポンプ等を安全に稼働させるために、定期的な点検やオーバーホール（機器の分解・整備）を実施しています。しかし、稼働環境によって機器の劣化具合は異なるため、時宜を捉えたメンテナンスの難しさが課題でした。

この課題を解決するため、IoT（センサ技術等）を活用した設備の故障検知、劣化状況の監視を行うことで効果的・効率的なメンテナンスを可能とし、施設の長寿命化、コスト削減に繋がる仕組みの構築の可能性を研究します。

### 2 研究内容

#### ① 新川電機（株）

- ・ ワイヤレス振動センサを用いた、ポンプ設備の状態監視
- ・ 周波数解析による軸受や構造体などの故障要因の特定、予知保全の実現

#### ② 東亜建設技術(株)、コネクシオ(株)、ウィットシステムズ(株)

- ・ 各種センサを用いた予知保全による保全作業の最適化
- ・ AR（拡張現実）を活用した保全作業の品質向上

※各研究の詳細については別紙をご参照ください。

### 3 研究期間

令和2年7月28日 ～ 令和3年3月31日

#### 【問い合わせ先】

○水道設備の実証実験に関すること

水道局計画部技術管理課

担当：江崎，高田

電話：092-483-3198（内線 148-3198）

○公民共働事業に関すること

総務企画局企画調整部

担当：井上，大隈

電話：092-711-4357（内線 1225）

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



### 共同研究①

- 実証フィールド 番托取水場
- 研究内容・実施方法

#### (1) ワイヤレス振動センサの活用

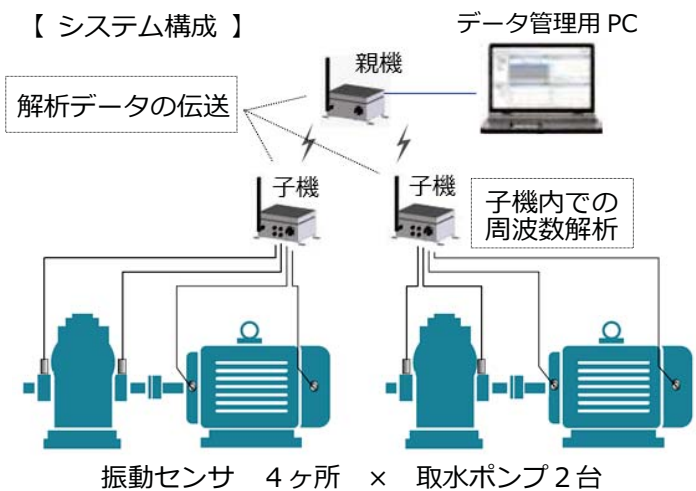
- ・ 2台の取水ポンプの各4ヶ所に振動センサを設置

振動データ（振動振幅，周波数）取得による状態監視の有効性を検証

#### (2) 周波数解析の実施

- ・ データ取得時，センサが自動で周波数解析を実施し，傾向管理に有効なデータを自動取得

周波数解析による予知保全，故障要因の特定，劣化状態等の傾向管理を検証



### 共同研究②

- 実証フィールド 四箇送水ポンプ場
- 研究内容・実施方法

#### (1) 予知保全による保全作業の最適化

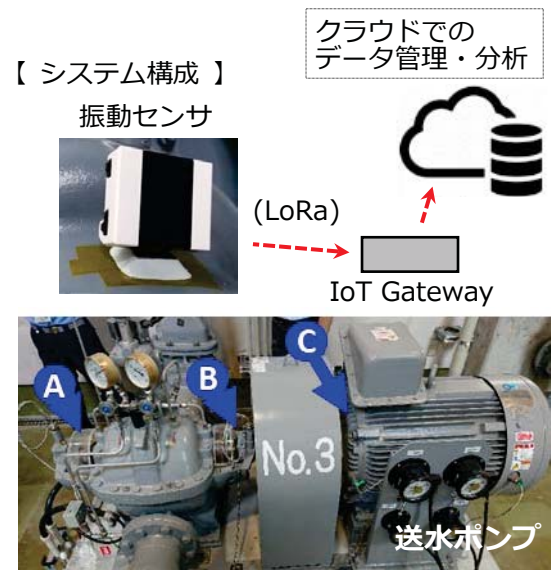
- ・ 3台の送水ポンプの各3か所（A～C）にワイヤレス振動センサを設置
- ・ 電源供給ケーブルに絶縁抵抗センサを設置

各種センサを活用した予知保全を検証

#### (2) AR（拡張現実）を活用した点検

- ・ 点検支援システムの構築  
点検マニュアルなどの有用な情報を，タブレット上に AR 機能で視覚的に映し出すことで，点検業務の品質向上と均一化を図る

点検業務における AR 機能の有用性を検証



業務効率化・市民サービス向上実証プロジェクト

7技術検証!

ドローン等を活用した橋梁点検支援技術の実証実験を開始!

福岡市では、民間事業者の先進的なアイデアや AI・IoT 等の革新的技術を活用して、社会課題の解決等を促進するワンストップ窓口『mirai@』（ミライット）を設置し、民間事業者との共働によりプロジェクトを創出する『公民共働事業』のご提案を随時受け付けております。

この度、以下の通り実証実験をスタートすることとなりましたのでお知らせいたします。

1 実証実験の目的

橋梁の点検は、5年に1度、損傷が確認できる距離まで人が近づいて「近接目視」で点検するように省令で義務づけられていますが、大規模な橋梁を「近接目視」するには点検車が必要であり、車両を道路上に配置して一定時間交通規制を行うため、周辺交通に影響を与えるなどの課題があります。

このため、点検の効率化を図ることを目的として、ドローン等の点検支援技術が「近接目視」の補完や代替として活用できる技術であるかの実証実験を市内複数の橋梁で行い、点検精度等の確認を行います。市内に約2,000橋ある橋梁の点検に関して、交通規制の緩和や点検手段の多様化といった効果が期待されます。

近接目視点検



橋梁点検支援技術による点検



補完・代替

2 実証実験

橋梁点検支援技術・・・7件 ※詳細については別紙をご参照ください。

3 実証実験期間

令和2年9月11日 ～ 令和2年9月30日

※現地取材の際には下記へお問い合わせ下さい。







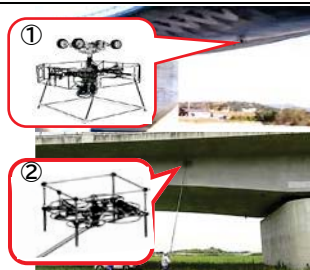

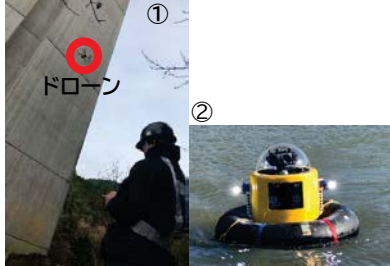
【問い合わせ先】

○橋梁点検支援技術の実証実験に関すること  
道路下水道局管理部道路維持課橋梁セグメント係  
担当：立場川，池上  
電話：092-711-4488（内線 3064）

○公民共働事業に関すること  
総務企画局企画調整部  
担当：井上，大隈  
電話：092-711-4357（内線 1225）





企業名・点検支援技術・技術概要		実証場所・期間*
1	<p>従来</p>  <p>支援技術</p> <p>株式会社アルファス・アリオン株式会社 『ドローンを用いた点検技術』</p> <p>ドローンのカメラで損傷箇所を把握し、橋梁点検車を用いて発見した損傷箇所の打音調査を行う。</p> <p>【利点】 ・ドローンでスクリーニング(点検箇所の絞り込み)を行うことで点検時間を短縮できる。</p>	<p>柳瀬橋 (早良区大字西)</p> <p>室見新橋 (西区福重5丁目)</p> <p>9月14日～15日</p>
2	 <p>写真からAIが図面化!</p> <p>オングリッド株式会社 『自動図面作図技術「マルツと図面化」®』</p> <p>カメラで損傷箇所を撮影し、AIで自動図面化</p> <p>【利点】 ・現場でのスケッチが不要で、図の作成時間を短縮可能</p>	<p>牛丸橋 (西区大字吉武)</p> <p>砂川橋 (早良区野芥8丁目)</p> <p>9月11日</p>
3	 <p>ジビル調査設計株式会社 『橋梁点検支援ロボットを用いた点検技術』</p> <p>水平アームにカメラ、ひび割れ測定機、打音検査機を搭載し、撮影した画像や打音調査により損傷箇所を把握する。</p> <p>【利点】 ・車道を交通規制せずに点検が可能 ・点検車が使用できない橋梁での点検が可能</p>	<p>鵜籠橋 (西区大字金武)</p> <p>千石橋 (早良区大字石釜)</p> <p>9月16日～17日</p>
4	 <p>株式会社ジャパン・インフラ・ウェイマーク 『ドローンを用いた点検技術』</p> <p>全方向衝突回避センサーを搭載した小型ドローンのカメラで撮影した画像により損傷箇所を把握する。</p> <p>【利点】 ・点検車が不要なため、交通規制をせずに点検が可能 ・ドローン自身が障害物を避けるため狭い場所でも操作が容易で、写真のような障害物が多い桁間も使用可能</p>	<p>井尻橋 (南区横手1丁目)</p> <p>友泉亭橋 (城南区友泉亭)</p> <p>9月29日～30日</p>
5	 <p>① ②</p> <p>新日本非破壊検査株式会社 『①ドローンを用いた点検技術 ②ポール型点検ロボットを用いた点検技術』</p> <p>①ドローンを桁下走行させ、画像解析と打音調査を実施 ②ドローンに伸縮棒を付けて操作し、損傷箇所を把握</p> <p>【利点】 ・点検車が不要なため、交通規制をせずに点検が可能 ・画像や打音信号を解析することで損傷の検出・評価を支援</p>	<p>橋本橋 (西区橋本2丁目)</p> <p>飯盛新橋 (西区大字飯盛)</p> <p>9月18日, 25日</p>
6	 <p>モニタリングカメラ</p> <p>大日本コンサルタント株式会社 『モニタリングカメラを用いた状態監視技術』</p> <p>モニタリングカメラを設置して損傷を監視する。</p> <p>【利点】 ・インターネット環境下のもと、いつでも損傷状態の観察が可能</p>	<p>日向橋 (西区大字吉武)</p> <p>9月28日～29日</p>
7	 <p>① ドローン ②</p> <p>夢想科学株式会社 『ドローンを用いた点検技術』</p> <p>①ドローンのカメラで撮影した画像により損傷箇所を把握 ②ドローンが飛行困難な環境下では、水上機で点検し、撮影した画像からAIで損傷抽出や自動図面化</p> <p>【利点】 ・点検車が不要なため、交通規制をせずに点検が可能 ・現場でのスケッチが不要で、図の作成時間を短縮可能</p>	<p>郷口橋 (東区宮松2丁目)</p> <p>箱崎橋 (東区宮松2丁目)</p> <p>9月23日～24日</p>

※実証実験時期は、天候等により変更となる場合があります。

※安全かつ法令を遵守したドローン飛行を行うため、空港周辺以外の橋梁を選定して実証実験を行います。

令和2年10月30日  
福岡市総務企画局企画調整部  
福岡地域戦略推進協議会

## 福岡市実証実験フルサポート事業

# 『ICT（カメラ画像）を活用したまちの賑わいの創出』実証実験開始

福岡市と福岡地域戦略推進協議会（FDC）では、AIやIoT等の先端技術を活用した社会課題の解決等に繋がる実証実験プロジェクトを全国から募集し、福岡市での実証実験をサポートする「福岡市実証実験フルサポート事業」を実施しており、今年3月に、本事業を実証実験プロジェクトとして採択いたしました。

この度、採択企業による実証実験が下記及び別添のとおり開始されますので、お知らせします。

## 記

### 1 事業者

九州大学

### 2 実証実験内容（※実験詳細は別紙のとおり）

#### (1) 概要

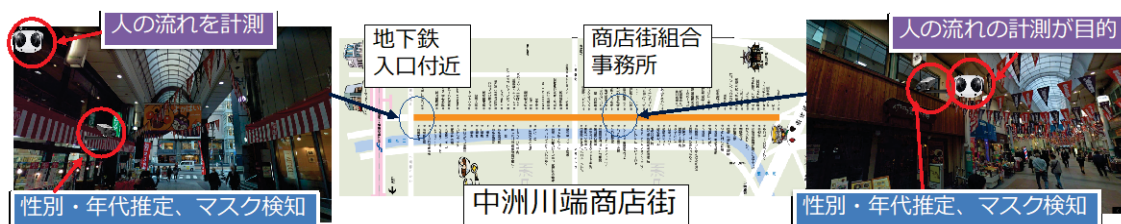
本実証実験では、AI画像解析技術を用いて、取得した画像から商店街等における「属性付き人流データ」を生成し、さらに気象データやイベント情報等を加えることで、様々な要素が売上げに与える影響を分析されます。

#### (2) 期間

2020年11月1日～2021年3月31日

#### (3) 場所

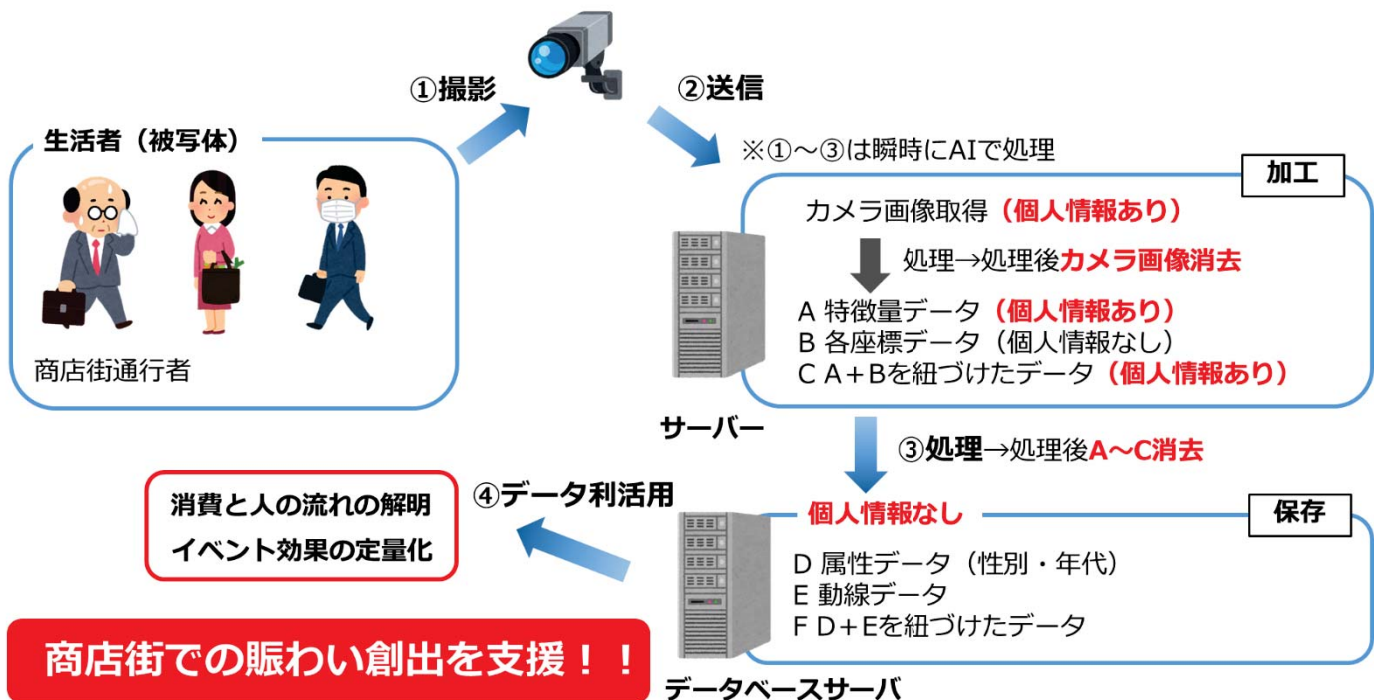
川端通商店街（上川端商店街、川端中央商店街）の2箇所



#### (4) カメラ画像の取扱いについて

本実証事業では、カメラ画像利活用ガイドブック（経産省・総務省）に基づいて実施いたします。画像データの処理の流れは下記の通りで、本実証では個人情報を取得することはありません。本実証実験で生成する属性付き人流データは個人情報を含んでおらず、データから個人を特定することはありません。

### データ処理のイメージ



プライバシーポリシー:

URL: [https://platform.coi.kyushu-u.ac.jp/fukuoka\\_pj/](https://platform.coi.kyushu-u.ac.jp/fukuoka_pj/)

### 3 問い合わせ先

- 福岡市実証実験フルサポート事業に関すること  
福岡市総務企画局企画調整部  
担当：井上, 井口 電話：092-711-4357
- 実証実験の内容・カメラ画像の取扱いに関すること  
九州大学持続的共進化地域創成拠点  
担当：准教授 高野 電話：092-802-6668  
E-mail: takano.shigeru.019@m.kyushu-u.ac.jp

以上

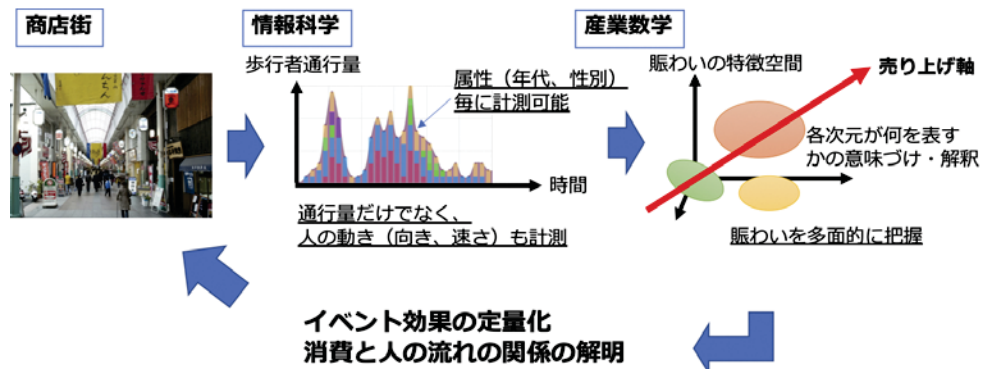


国立大学法人九州大学

## 九大 COI、福岡市実証実験フルサポート事業において商店街での実証開始 ～商店街の賑わいの創出に向けた人流分析環境を構築～

国立大学法人九州大学持続的共進化地域創成拠点（文部科学省「革新的イノベーション創出プログラム（COI STREAM）」拠点、九大 COI）は、まちの「賑わい創出」にかかる都市サービスの社会実装を推進するべく、公共空間におけるカメラ映像を利活用した人流分析実証実験「ICT を活用したまちの賑わいの創出」を川端通商店街（上川端商店街、川端中央商店街）において開始いたします。

本実証実験「ICT を活用したまちの賑わいの創出」では、AI 画像解析技術を用いて、商店街等における「属性付き人流データ」を生成し、さらに気象データやイベント情報等を加えることで、様々な要素が売上げに与える影響を分析します。新型コロナウイルスによるパンデミック終息後の地域経済の復興にも貢献できるよう、有用性を検証します。



九大 COI では、実証実験を参画機関と共に推進することで、商店街における属性付き人流データの活用による「賑わい分析 BI ツール」の社会実装を目指します。また、公共空間での社会実装であることを考慮し、セキュリティやプライバシー保護に配慮しながら、さまざまな都市サービスとの連携を視野に、アプリケーションや基盤開発、社会的受容性の検証なども実施していきます。

- 国立大学法人九州大学の Web サイト

<https://www.kyushu-u.ac.jp/>

- 持続的共進化地域創成拠点の Web サイト

<https://coi.kyushu-u.ac.jp/>

日本電気株式会社

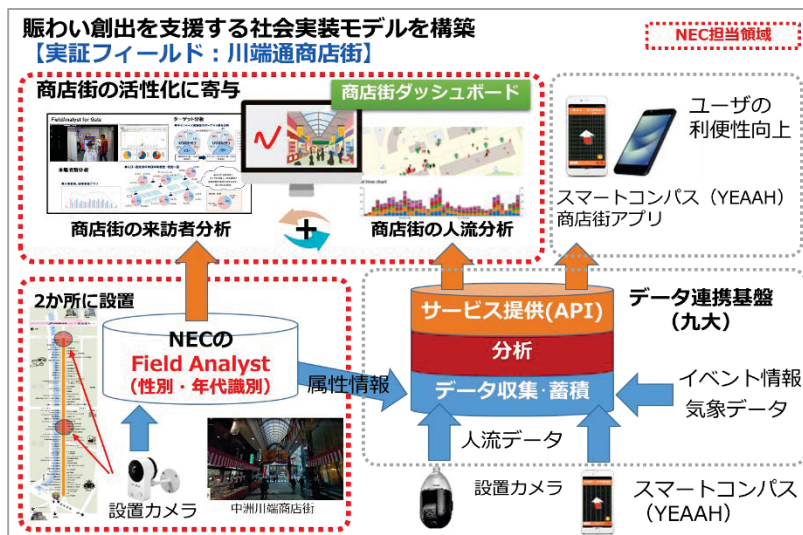
## 九大 COI と連携し、カメラを使った商店街の人流分析に参画

日本電気株式会社(以下 NEC)は、企画提案の段階から九大 COI 様と連携することにより、産学連携を図りながら当社の強みである画像認識技術を社会実装し、社会課題解決に貢献していくことを目的としております。今回、公共空間でのカメラ画像活用における社会実験フェーズに至ったことで、以下の確認、実証を行うことができるようになりました。

- ① 社会的受容性
- ② リアルな住民ニーズ・課題の掘り起こし
- ③ 技術の有用性

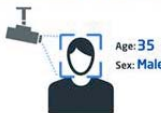
更に、現在のコロナ禍の下、公衆衛生の観点からマスク着用の計測も実施いたします。本実証実験の成果は、福岡市のスマートシティ構想へのフィードバックをはじめ、社会実装を進めることで、更なる社会課題の解決に向けて貢献できるものと確信しております。

### 実証における NEC の役割



本実証実験では、NEC ソリューションイノベータ株式会社の **画像による人物像分析システム「FieldAnalyst」** を活用して画像から自動で人物、顔を検出し、年齢・性別などの属性情報を推定しています。経済産業省「カメラ画像利活用ガイドブック ver2.0」に則って、個人情報の扱いには十分に配慮し、個人情報扱いではない「属性情報」データのみを分析の対象としています。


**「Field Analyst (フィールドアナリスト)」とは**



「Field Analyst」は画像から自動で  
**人物・顔を検出し、性別/年齢を推定**する  
画像認識技術を活用した製品です。


Covid-19を踏まえ追加

**リアルタイム計測**




リアルタイムで  
入退場者数を計測  
性別/年齢も集計

**プライバシーへの配慮**




顔画像を録画せず  
計測値のみ保存

**豊富な実績とノウハウ**




「JISA Awards 2015」  
Winner

**顔の装着物も推定**




メガネ・マスク・  
帽子などの顔装着  
物も推定可能

ライセンス数




国内外 **65,000** 台

販売実績




**10** 年以上

利用実績



世界 **20** カ国

本実証で活用する製品



**FieldAnalyst for Gate**

建物やイベント会場などで入退場数の流れを把握  
商業施設やイベント会場などの入り口k設置したカメラを用いて、**入退場者数**をリアルタイムに計測します。さらに**来場者の性別/年齢**もリアルタイムに分析、集計します。

製品紹介 URL :

<https://www.nec-solutioninnovators.co.jp/sl/fieldanalyst/>

### ■プライバシーへの配慮

本実証事業では、カメラ画像利活用ガイドブック（経産省・総務省）に基づいて、画像データ取得に関する事前告知（通知文の掲示、Webでの周知）を実施します。また、今回、画像データは解析後即削除します。今後は、防犯カメラ機能を保持しつつ、生活支援目的の運用を実施できるよう指針の確立を目指します。

本実証事業において取得する個人情報（個人情報保護に関する法律その他関係法令に従い、個人情報の適切な取得・利用・管理に努めてまいります。本実証実験で生成する属性付き人流データは個人情報を含んでおらず、データから個人を特定することはありません。本実証実験の概要を実証場所に掲示し、さらに以下の九州大学のHP上にプライバシーポリシーの掲示を行っています。

[https://platform.coi.kyushu-u.ac.jp/fukuoka\\_pj/](https://platform.coi.kyushu-u.ac.jp/fukuoka_pj/)

## ■会社概要

会社名：日本電気株式会社 (NEC Corporation)

設立日：1899年(明治32年)7月17日

代表取締役：執行役員社長 兼 CEO 新野 隆

本社所在地：東京都港区芝五丁目7番1号



令和2年11月18日  
福岡市総務企画局企画調整部  
福岡地域戦略推進協議会

## 福岡市実証実験フルサポート事業

### 「電力、センサー情報を用いた居宅内モニタリングシステム」実証実験開始！

福岡市と福岡地域戦略推進協議会（FDC）では、AI や IoT 等の先端技術を活用した社会課題の解決等に繋がる実証実験プロジェクトを全国から募集し、優秀なプロジェクトの福岡市での実証実験をサポートする「福岡市実証実験フルサポート事業」を実施しています。

この度、令和2年3月に採択された、株式会社ウェルモと東京電力パワーグリッド株式会社が共同で実施する、「電力、センサー情報を用いた居宅内モニタリングシステム」の実証実験が下記のとおり開始されますのでお知らせします。

#### 記

- 1 事業者 株式会社ウェルモ（代表取締役 CEO：鹿野 佑介）  
東京電力パワーグリッド株式会社（代表取締役社長：金子 禎則）



東京電力パワーグリッド

#### 2 実証実験の内容

##### (1) 概要

- 一人暮らしの高齢者宅に、AI 技術を用いた高精度の電力センサーを設置し、家電の利用データなどから生活行動や異常状態を推定します。
- 高齢者の生活行動はモニタリングレポートとしてご家族やケアマネジャーに提供され、常に確認できるようになるとともに、異常状態が推定された場合はリアルタイムで通知が届きます。
- この取組が、介護サービスの適正化や介護負担の軽減に寄与するかどうかを検証します。

- (2) 対象 福岡市内の支援・介護を要する一人暮らしの高齢者 20 名程度

- (3) 期間 令和2年11月下旬～令和3年4月（予定）

※詳細は、別紙、実施事業者のリリース資料をご参照ください。

#### 【お問い合わせ先】

福岡市総務企画局企画調整部 吉村、八尋  
電話：092-711-4879（内線 1219）

ウェルモ × 東電パワーグリッド

## withコロナでも注目される高齢者の遠隔見守り、 「電力、センサー情報を用いた居宅内モニタリングシステム」 11月より福岡市で実証開始

AIやICTを活用した介護福祉プラットフォームサービスを提供する株式会社ウェルモ(代表取締役:鹿野佑介、所在地:東京都千代田区、以下「ウェルモ」)は、東京電力パワーグリッド株式会社(以下「東電P G」)、株式会社エナジーゲートウェイ(以下「EG」)と共同開発を進めている「電力、センサー情報を用いた居宅内モニタリングシステム」(以下「本事業」)について、福岡市で約20名の独居高齢者を対象に、11月から順次実証を開始します。

本事業では、身近にある電力データやその他センサーデータを基に生活行動や異常状態を推定し、その結果をご家族への通知や介護事業所やケアマネジャーなど介護専門職へモニタリングレポートとして提供します。新型コロナウイルスの影響で、対面や接触を避けながら、高齢者や要介護者の生活状況を正しく把握する「遠隔見守り」は、今後一層ニーズが高まっていくものと考えられます。



モニタリングレポートの画面イメージ

## ■実証概要

期間： 令和2年11月下旬～令和3年4月（予定）

対象： 福岡市内にお住いの一人暮らしのご高齢者（要支援1・2, 要介護1・2）約20名

### 実施概要：

電力センサーやその他センサーのデータに基づき、ご家族及び介護事業者やケアマネジャーなどへ生活状況のレポートや異常行動の通知を行います。ご家族や介護専門職はWEB上でログインするとご利用者（高齢者）の24時間のモニタリングデータなどを見ることができます。また、事前の設定に合わせ、異常の際にはメール通知を行います。また、ご利用者（高齢者）、ご家族、介護専門職は、モニタリングデータの閲覧だけでなく、ログインをしてチャット機能を用いた情報交換もできます。

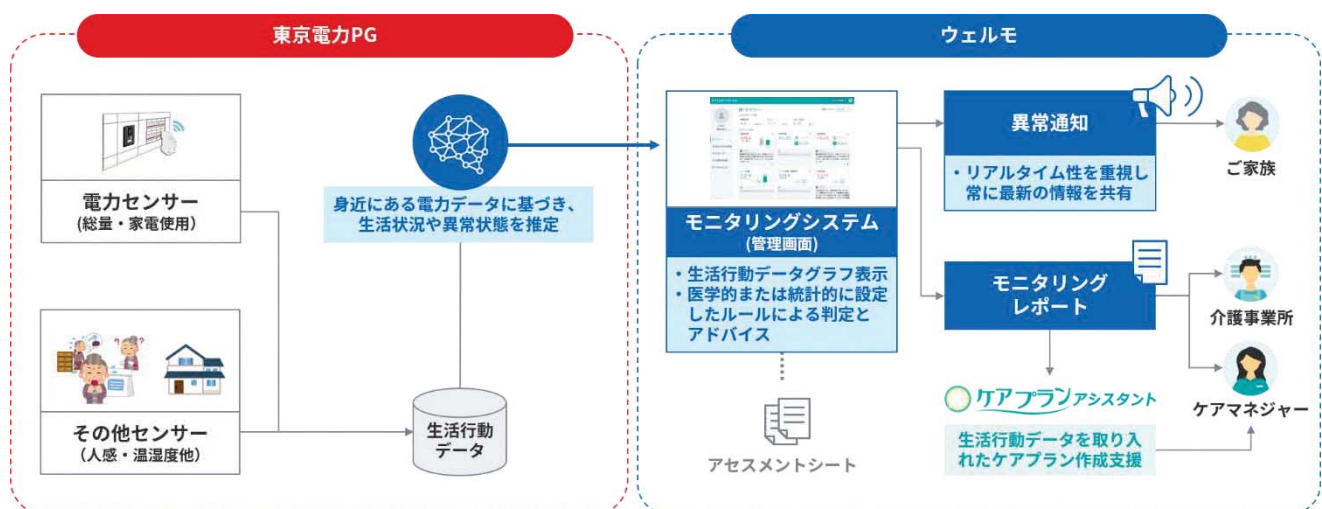
### 検証内容：

24時間の生活情報が得られることで介護サービスの適正化につながるか、また、介護専門職による対面や電話による生活情報の聞き取りにかかっている時間や負担が軽減されるかなどを検証します。また、離れたご家族にとって役に立つサービスかどうかも確認します。

## ■「電力、センサー情報を用いた居宅内モニタリングシステム」について

AI技術を用いた高精度電力センサーから測定した家電利用データやその他センサーデータを基に、生活行動や異常状態を推定した結果をモニタリングシステムに連携し、ご家族への異常通知や、介護事業所やケアマネジャーなどへのモニタリングレポートの提供を行います。将来的には、ウェルモが開発しているケアプラン作成支援AI「ケアプランアシスタント」と連携して生活行動データを取り入れたケアプラン作成を目指しています。

これまで難しかった独居の要介護者が介護サービスを受けていない時間帯の生活実態を把握することで、より実態に即した介入やプランの作成・見直しができるようになり、介護の質の向上や、要介護者の自立支援・重度化防止、介護人材や要介護者を持つご家族の負担の軽減などが期待できます。



## <本事業における各主体の役割>

### 東電PG・EG

子会社であるエナジーゲートウェイが保有するAI技術を用いた「機器分離技術」※1を実現するIoTプラットフォームを提供。

※1 住宅全体の電気の使用状況を、家電製品の種類毎に分離するAI技術により、家電製品毎の電気使用の変化をリアルタイムに検知することが可能

### ウェルモ

東電PGのIoTプラットフォームからの分析情報を基に、介護のノウハウやこれまでのサービス開発の知見を用いてモニタリングシステムを構築し、サービスを展開。また、ケアプラン作成支援AI「ケアプランアシスタント」との連携によるケアプラン作成支援も提供。

### ■福岡市実証実験フルサポート事業とは

AI・IoTなどの先端技術を活用した社会課題の解決や生活の質の向上などにつながる実証実験プロジェクトを全国から随時募集し、優秀なプロジェクトの福岡市での実証実験を全面的に市がサポートする取り組みです。



### ■株式会社ウェルモ 会社概要

社会課題をICTと先端技術の力で解決することをミッションに掲げる、ケアテックカンパニー。ケアプラン作成支援AIの「ケアプランアシスタント」、介護の地域資源情報を集約するプラットフォーム「ミルモネット」、児童発達支援・放課後等デイサービス「UNICO(ユニコ)」の事業などを展開しています。

ウェルモコーポレートサイト:<https://welmo.co.jp/>

- ・商号：株式会社ウェルモ（代表取締役CEO:鹿野 佑介）
- ・設立：2013年4月30日
- ・資本金：15.09億円（2020年3月時点:資本準備金含む）
- ・本社所在地：東京都千代田区内幸町1-1-6NTT日比谷ビル4F
- ・福岡本店：福岡県福岡市中央区天神4丁目4-11

<本件に関する問合せ先>

株式会社ウェルモ 東京本社 広報担当:上堀(かみほり)

Tel:03-6205-7308 / 090-5552-5338 Mail:pr@welmo.co.jp



市政記者各位

令和2年11月20日  
福岡市総務企画局企画調整部  
福岡地域戦略推進協議会

## 『my route を活用したデジタル観覧券販売プロジェクト』実証実験開始!!

福岡市と福岡地域戦略推進協議会（FDC）では、AIやIoT等の先端技術を活用した社会課題の解決等に繋がる実証実験プロジェクトを全国から募集し、優秀なプロジェクトの福岡市での実証実験をサポートする「福岡市実証実験フルサポート事業」を実施しています。

この度、以下のとおり採択企業による実証実験が開始されますので、お知らせします。

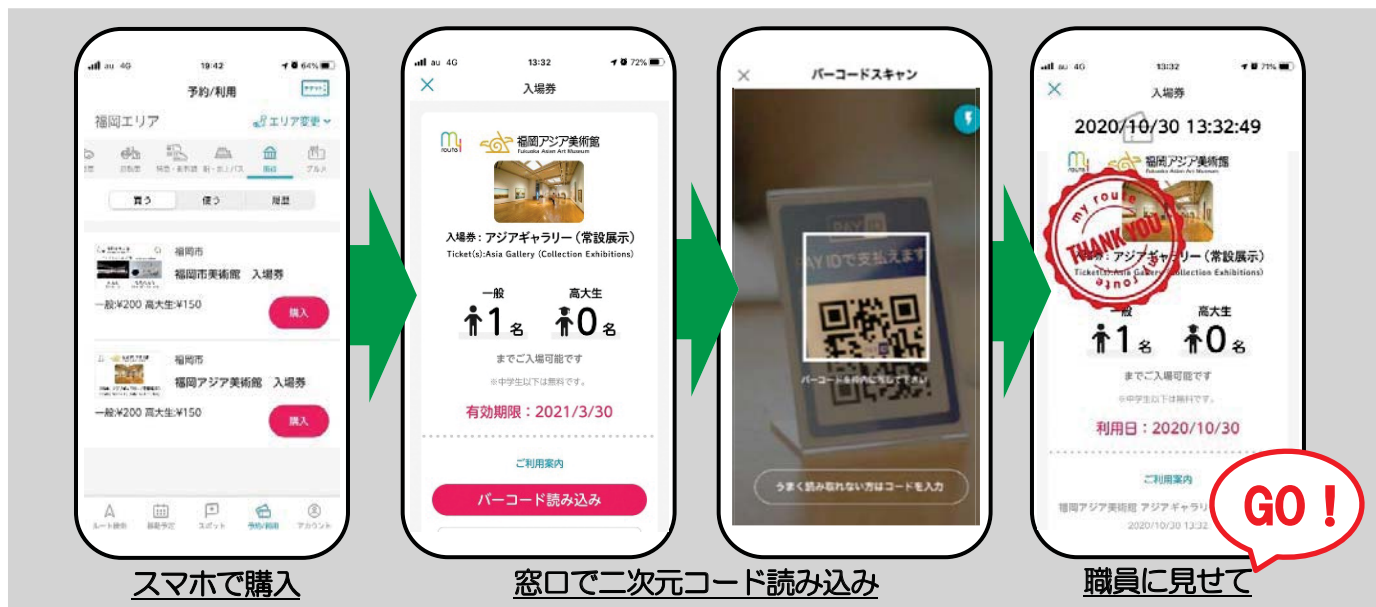
### 1. 事業者

西日本鉄道株式会社、九州旅客鉄道株式会社

### 2. 実証実験内容

#### (1) 概要

今まで紙チケットだった福岡市文化施設の常設展観覧券を電子化し、スマートフォンアプリ「my route」上で、電子チケットのオンライン決済から発券まで行う。



(2) 期間 令和2年11月20日（金）～令和3年3月31日（水）

(3) 場所 福岡市美術館、福岡アジア美術館

### 3. 問い合わせ

福岡市総務企画局企画調整部 担当：井上、熊本 電話：092-711-4357（内線 1225）



<my route とは>

「人がもっと楽しく移動できると、まちはきっと魅力的になる」がコンセプト。様々な交通手段を組み合わせることで目的地までの最適な移動手段を検索し、タクシーの予約・支払いや、バスのフリー乗車券の購入・利用ができるアプリです。





**マルチモーダルモビリティサービス「my route」内で  
「文化施設の観覧券電子化・オンライン決済」の実証実験を開始します！  
～デジタル観覧券の購入から美術館への移動までサポートいたします～**

西日本鉄道株式会社（以下「西鉄」）と九州旅客鉄道株式会社（以下「JR九州」）は、福岡市が行っている「福岡市実証実験フルサポート事業」※の一環として、本日（2020年11月20日）よりトヨタファイナンシャルサービス株式会社が提供するマルチモーダルモビリティサービス「my route」内で、福岡市美術館および福岡アジア美術館の観覧券の電子化・オンライン決済の実証実験を開始いたします。

当実証実験は、福岡市文化施設の常設展観覧券を電子化することにより、「my route」内でチケットのオンライン購入が可能となり、二次元コードを読み込むことでスムーズかつ“非接触”で入場できます。また、「my route」ひとつで、デジタル観覧券の購入・決済はもとより、美術館への複数の移動手段の案内まで、まとめてサポートいたします。本取り組みを通して、福岡の観光プロモーションの促進および“まち”の活性化につなげていきたいと考えております。

西鉄と JR九州は、今後もコロナ禍における社会課題の解決に貢献するとともに、より利便性の高いサービスを提供してまいります。

※福岡市と福岡地域戦略推進協議会（FDC）が、AI や IoT 等の先端技術を活用した社会課題の解決等に繋がる実証実験プロジェクトを全国から募集し、採択企業に対して実証実験をサポートする事業。

**1. 実証実験概要**

- (1) 期間 2020年11月20日（金）～2021年3月31日（水）予定
- (2) 販売箇所 マルチモーダルモビリティサービス「my route」内
- (3) 購入の流れ



予約/利用画面からチケットを購入・決済



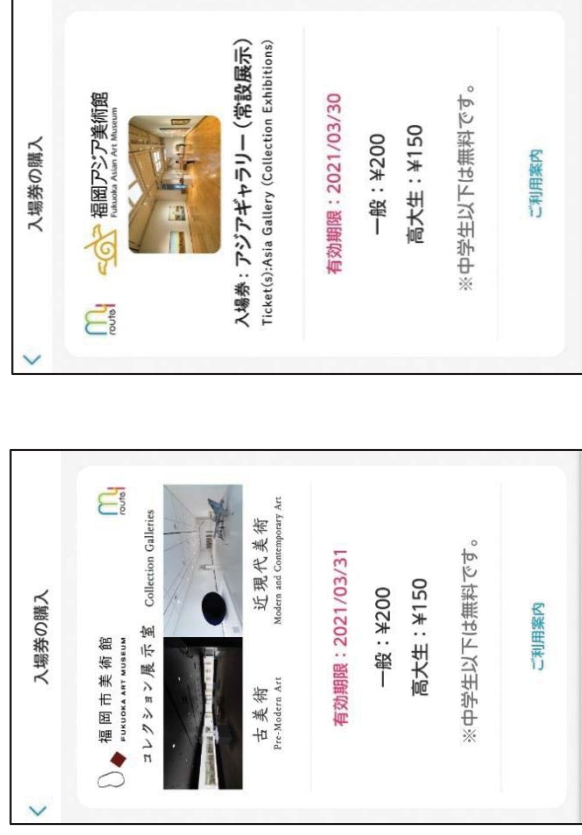
アプリ内の入場券から、当日窓口にて二次元コード読み込み



係員に見せて「非接触」入場！

- (4) 券種 福岡市美術館デジタル入場券：一般 200 円・高大生 150 円  
 <コレクション展示室（古美術、近現代美術）>  
 【福岡市美術館 HP】<https://www.fukuoka-art-museum.jp/>  
 福岡アジア美術館デジタル入場券：一般 200 円・高大生 150 円  
 <アジアギャラリー（常設展示）>  
 【福岡アジア美術館 HP】<https://faam.city.fukuoka.lg.jp/>

(5) 券種イメージ



(参考) マルチモーダルモビリティサービス「my route」について



- (1) 概要 「人がもっと楽しく移動できると、まちはきっと魅力的になる」をコンセプトに、様々な移動手段のひとつとして、公共交通や自動車を位置づけ、リアルタイムなユーザーや都市の状況に応じた最適な移動手段を提供するアプリ。
- (2) 提供者 トヨタアイナシナルサービス株式会社
- (3) サービス地域 福岡市・北九州市、水俣市、横浜市、横濱市、宮崎市・日南市
- (4) サービス内容 ①マルチモーダルルート検索  
 公共交通（バス・鉄道・地下鉄など）、自動車（タクシー・レンタカー・カーシェアリング、自家用車など）、自転車（サイクルシェアを含む）、徒歩など、様々な移動手段を組み合わせ、移動ルートの選択肢を提示。また、ルート検索において西鉄の路線バスのリアルタイム位置情報や駐車場の満空状況も表示。

## ② 予約・決済

デジタル乗車券の購入やタクシーの予約・決済が可能。

移動手段の予約から利用までをひとつのアプリの中でシームレスなサービスとして提供。

また、航空機や新幹線、高速バスも「my route」から外部サイトに遷移し予約が可能。

## ③ 店舗・イベント情報の検索

地域のイベントや店舗・スポット情報を提供し、外出のきっかけ作りや目的地付近での回遊性を促進。

(5) アプリ <https://www.myroute.fun/>

こちらの二次元コードから  
ダウンロードいただけます



本リリースは、福岡経済記者クラブ・九州 JR 記者クラブに発表しています。

【本件に関する問い合わせ先】

西日本鉄道株式会社 広報部広報課 川鍋、吉田（TEL：092-734-1217）まで

九州旅客鉄道株式会社 広報部（TEL：092-474-2541）まで



令和2年12月3日  
福岡市総務企画局企画調整部  
福岡地域戦略推進協議会  
Fukuoka Growth Next

## 福岡市実証実験フルサポート事業「Beyond Coronavirus」

# 『多目的AIカメラサービス事業』実証実験開始

福岡市と福岡地域戦略推進協議会（FDC）では、AIやIoT等の先端技術を活用した社会課題の解決等に繋がる実証実験プロジェクトを全国から募集し、福岡市での実証実験をサポートする「福岡市実証実験フルサポート事業」を実施しております。

今年7月に、スタートアップ支援施設「Fukuoka Growth Next（フクオカグロースネクスト）」の協力のもと、「Beyond Coronavirus（＝コロナを乗り越える）」をテーマとした7件の実証実験プロジェクトを採択いたしました。

この度、採択事業者による実証実験が下記のとおり開始されますので、お知らせします。

## 記

### 1 事業者

九州電力株式会社（本店：福岡市中央区、代表：代表取締役社長執行役員 池辺 和弘）  
株式会社オプティム（本社：東京都港区、代表：代表取締役社長 菅谷 俊二）

### 2 実証実験内容（事業者のプレスリリース資料は、別紙のとおり）

#### （1）概要

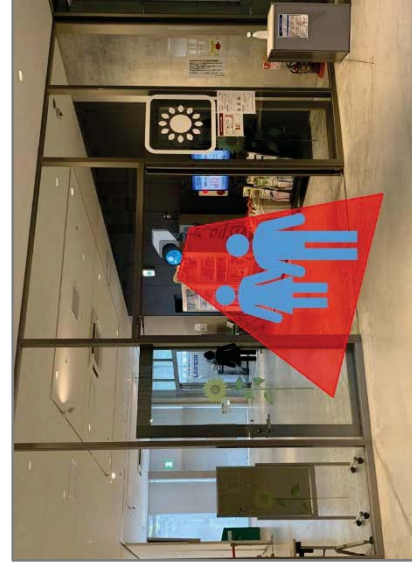
本実証実験では、「多目的AIカメラサービス」に関する実証実験として、1台のカメラで撮影した画像をAIで解析し、コロナ対策において求められる「マスク着用の有無」、「施設内の利用者数」や「混雑検知」などの複数のサービスの同時に提供する上での技術的課題や運用上の課題に関する実証実験を行うものです。

本サービスが実用化された場合、1台のカメラで複数のサービスが利用できることになり、サービスごとのカメラの増設が不要であることから、必要なサービスを柔軟かつ安価に利用することが可能となります。

#### （2）実証実験場所・期間

##### ①なみきスクエア・1階ひまわりひろば入口（福岡市東区千早）

令和2年12月9日（水）から 令和3年1月28日（木）【予定】



### ②福岡市地下鉄天神南駅・東口改札（福岡市中央区天神）

令和3年2月8日（月）から 令和3年2月27日（土）【予定】



### （3）実験内容

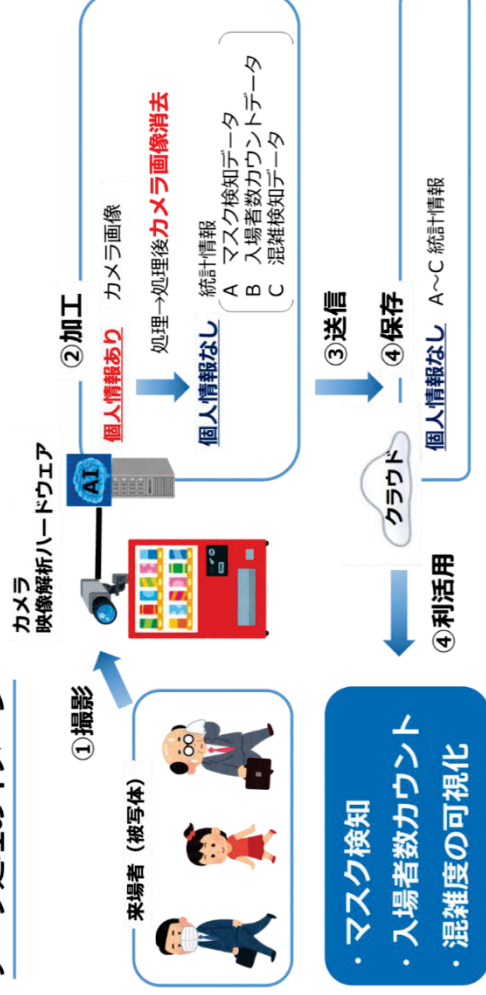
上記（2）①・②とともに、「マスク検知」、「入場者数カウント」、「混雑検知」を実施

※①の「マスク検知」は1月から運用予定

### （4）カメラ画像の取扱いについて

本実証実験では、カメラ画像活用ガイドブック（経産省・総務省）に基づいて実施いたします。画像データの処理の流れは下記の通りで、本実証実験では個人情報取得することはありません。

#### データ処理のイメージ



※プライバシーへの配慮の詳細については以下をご参照ください

URL : <https://www.optim.co.jp/ai-camera/poc-of-fukuoka-city2020.html>

### 3 問い合わせ先

●福岡市実証実験フルサポート事業に関すること

福岡市総務企画局企画調整部

担当：井上、井口 電話：092-711-4357

●実証実験の内容・カメラ画像の取り扱いに関すること

九州電力株式会社 情報通信本部

多目的AIカメラサービス実証実験担当 電話：092-726-1522

株式会社オプティム

広報・IR室 電話：03-6435-8570 E-Mail : [press@optim.co.jp](mailto:press@optim.co.jp)

## 福岡市内において「多目的A Iカメラサービス」の実証実験を開始します

― 福岡市実証実験フルサポート事業「Beyond Coronavirus」に採択 ―

九州電力株式会社と株式会社オプティムは、福岡市実証実験フルサポート事業「Beyond Coronavirus」実証実験プロジェクトに採択された「多目的A Iカメラサービス」(2020年7月1日 お知らせ済み)の実証実験を福岡市東区の香椎副都心公共施設「なみきスクエア」と福岡市地下鉄天神南駅で実施いたします。

「多目的A Iカメラサービス」とは、1台のカメラで撮影した画像をA Iで解析し、混雑検知やマスク装着有無の判別など複数のサービスを同時に提供するものです。1台のカメラで複数のサービスを利用でき、カメラの増設が不要であることから、必要なサービスを柔軟かつ安価に利用することが可能となります。

今回の実証実験では、なみきスクエア及び天神南駅に設置したカメラで混雑度合い(人数カウント)及びマスク装着有無の判別と音声による装着喚起の有効性や技術的課題、運用上の課題等を検証します。また、なみきスクエアでは、コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社(本社：東京都港区、代表取締役社長：カリン・ドラガン)と協業し、同社自動販売機の上部に多目的A Iカメラを設置することで、生活の身近にある自動販売機に新たな付加価値を見出してまいります。

本サービスの提供により、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐ、新しい生活様式を取り入れたまちづくりに貢献してまいります。

九州電力とオプティムは、A I・I o T等を活用した新たなサービスや新規事業の検討・開発に関する「戦略的提携」を締結しており、今回の実証実験は、本提供に基づく共同案件となります。(2018年10月4日お知らせ済み)

両社は、これらの取り組みを通じて新たな事業の創出を図ることで九州の発展に貢献するとともに、九州域外、更には海外へと展開を進めてまいります。

以上



## 〔多目的AIカメラサービスのイメージ〕

▶機能・サービスの分だけカメラが必要



今後はコロナ対策の機能も必要



多目的カメラサービスの提供で  
新たな生活様式に貢献

## 〔実証実験〕

- なみきスクエア
  - ・実施期間：2020年12月9日～2021年1月28日（予定）
  - ・カメラ数：1台
- 地下鉄天神南駅
  - ・実施期間：2021年2月8日～2021年2月27日（予定）
  - ・カメラ数：1台
- プライバシーへの配慮
  - ・本実証は、プライバシーに配慮し、カメラ画像利用ガイドブック（経産省・総務省）に基づき実施します。
  - ・撮影画像から抽出した個人特定につながらない統計情報（マスク検知データ・入場者数カウントデータ・混雑検知データ）のみを扱います。
  - ・撮影画像は加工後破棄し、サーバーにも保存されません。また、取得した統計情報は、本実証に関係しない第三者に提供されることはありません。
  - ・詳細は <https://www.optim.co.jp/ai-camera/poc-of-fukuoka-city2020.html> もご参照ください。

○本実証のお問い合わせに関する連絡先

九州電力株式会社 情報通信本部

（多目的AIカメラサービス実証実験 担当）

TEL 092-726-1522

株式会社オプティム 広報・IR室

TEL 03-6435-8570 E-Mail [press@optim.co.jp](mailto:press@optim.co.jp)